

歐米に於ける兒童保護の近狀

倉 橋 惣 三

日本は世界中で一番子供を大事にする國だ、子供のために一番しあはせな國。子供の樂園だ。と日本人も外國人もそういつてをるといふことを聞いて居りました、私もそのつもりで外國旅行をしました。がさて、種々な國で子供の受けているいろ／＼な仕上げをみますと、強ち日本ばかりが特別に、子供の樂園でもないといふやうな氣がいたしました。

昔は日本が經濟的に社會的に、呑氣な状態にあつたので緑の野綺麗な川邊に、母が子供の手を引いてのどやかに遊んでやるのが出來ましたし、まつりの日には子供を脊おひおどしてにぎやかにたのしみました。その様な如何にも平和な様をみますと、な程日本の子供は幸福だと、外國人が思ふのも尤なことです、然し今はかはつて來ました、第一經濟的壓迫を受ける事が多くなりましたからなか／＼呑氣でばかりも居られなくなりました。

『日本の親が、子供に對する情の厚いことは、外國

の遠く及ばぬ所である』。と日本人は云つてをります。けれども何處の人でも自分は他の人に比べて子供に對する情が劣つて居るなどを思ふ人はありますまい。たとへば二軒長屋にしましても、自分の方がおとなりより子供のかあいがかたが劣つていると思ひはいたしません。何處の國何處の家でも自分のうち程子供を大事にする所はないと思つているにちがいありません。なる程芝居に行くにしても、訪問、音樂會などで、子供を置きすてにして出かけて行く外國の母親をみますと外國の親は冷淡だと思ふのもむりはありません。日本人は外國の親を、日本のむかしに謂ゆる繼母の様に思つて居ります。日本の人にでもそういふ母もないではありませんがしかし、外國の母をみますと全く、日本の母の様に子供をなめたり、愛に溺れると云ふ事は決して有りませぬ。種々な考へや、事情によつて子供を育てる方法こそ異なれ親が子を愛するに日本と外國と其の差異

優劣の有る筈がありません。親の情から云へば決して無慈悲な親は無いのであります。

さて、日本の親の情と外國のそれと、決して變りがないとすれば、次に考ふべき事は隣りの子、よその子に對して如何にすべきかといふ問題であります。日本の親が、自分の子をそれ程、世界に誇る程、愛するといふならば、人の子、他人の子に對しては如何にと申すに之を外國に比べては、残念ながら遙かに全く劣つて居るのであります。外國の事必ずしも世界でいふ程で無い事もありましたが、外國の親が日本の子供に對する愛ばかりで無く、世の中の人の子に對する情、社會の子供町の子供延いては外國の子供に對して何かよい事をしてあたへやう、といふ考は日本人の遠く及ばない所であります。

元來日本は身びいきの國で自分に關係の有る者に大變やさしく、注意深く、親切であるが、少しでも關係の薄い人には、何等考へてやらぬと云ふ缺點をもつてをります。電車に乗つて見ても、混雜して居る時、若し自分の子が居たなら必ず自分が立つて席をあたへる筈の所を、人の子に對しては、少しも考へぬげに小さい子供を立たせて大人が平氣で腰か

けて居るではありませんか。殊に日々の新聞で或は堀に子供が落死したとか、或は電車自動車の下になつて命を失つたとか實にぞつと恐ろしい慘ましい事が平氣で行はれて居ります。その、生命を失つた子に對しては勿論、その子の親も、電車も、責任が有ります。しかしそれは人の居ない野原で起つた事ではない。暗の出來事ではない。人通の多い町中、子供の群れ遊んでをる、しかも、眞晝に起つた事とすれば、側に居た、大人婦人達は一體何をして居たのであらう。若し自分の子であつたら如何であるか。「人の子だから怪我をしてもいゝ」とは思はないまでも、それ程日本の大人は他人の子に對して無責任、不親切である。之を推し廣めて世界には明かに、他人の子に對して考へてやらなくてはならぬ事がたくさん有ります。

此の頃では内務省文部省各府縣市町村等でも大變考へて來られた様ですが、まだ一般の人々が子供を社會的に愛護するといふ心が熟して居ないと思ひます。そこで今日私は、この次に生江さん、乗杉さんのお話がありますが、その序論として、近來盛んに行はれている歐米各國の社會的兒童保護といふ

事に就いてお話ししてみやうと思ひます。

第一、家庭に於ける兒童愛護。

私は親にむかつて子供を愛せよといふ程恥かしい事は無いと思ひます。殊に今日はそういふ必要もありません。しかし家庭に屬さないで一人で居る子はあまりありませんから、子供愛護について考へるには先づ第一家庭に於ける兒童保護が最も大切な事であります。

第二には學校に於ける兒童愛護。

申すまでもなくあの澤山の費用をつかつて、社會國家の爲に造られた學校は、その廣さ子供の數に於ても最も多い所です。處が昔から學校に於ける子供愛護には、扁した考がある様に思ひます。即ち、學校に對する私共の迷信ともいふ可きは、學校では第一子供の心を育てる所。第二には智識を進める所。第三には身體を發達させる所といふ様に考へられて來ました。所が從來の様に學校は精神的愛護の場所といふ扁した考をもつてゐても、身體薄弱では如何とも致しかたが無い。そこで近來は身體第一といふ風に考へる様になりました。

英國では榮養不良な子に勉強は出來ないといふ事

を以て、法令として、榮養不良な子に食を與へる事がきめられてあります。私が在英中父親が彼のストライキ運動をして其子は實に可愛想な有様で居りました。かゝる子の爲に學校では特別な設備をして食物を與へて居るのをみました。又子供の身體検査は學校の社會的當然の義務としてつとめてをりましたが、我國に於ける學校は他の設備をさて置き、兒童の身體的保護に於てまことに不充分であると思ひます。

第三、一般的社會的兒童保護

世間では貧乏人の子供ばかりを愛護するのが兒童保護の様に思つて居りますが、それと同時に一般的兒童愛護といふことも考へねばなりません。殊に人家稠密往來頻繁の大都會に於ては、すくなくとも左の三つの特別な設備がほしいと思ひます。

(一) 兒童の遊び場。

(二) 兒童のクラブ。

(三) 道路それ自身としての兒童保護。

兒童の遊び場及び子供のクラブは、都會の道端であそびたがる子供、乃至は、都會で自分の家が狭いといふ點から道端でなくては遊ぶ事の出來得ぬ子供

等の爲に、是非必要な場所であります。それと同時に道路それ自身の改善は専ら必要だと思ひます。

シカゴ、ニューヨーク等では『一步外出すれば車がある之を如何に爲べきかは目下の急務で有る』と雜誌等にも有る程に考へられてをります。が彼處には歩道がありますから日本よりも安全です、私の居りました所は人通りも少く、子供もあまり多くは居りませんでした。が子供が學校の往復時間には、巡査が立つて、其の時折に自働車、車馬を徐行或は停止させてをります。或は子供の遊んで居る時には、巡査が必ず、ついてゐてくれる所もあります。夏は、或る町を何時自何時迄道路を仕切つて、車馬止めといふことになつて、その間は子供等が自由に遊べる事になつてをります。又きめられた時間内、町に水を堪へて、水浴をさせたり、圖書館、博物館、美術館なども子供の爲のものが特別に設備されて居る等、實に羨望にたへざる次第であります。

或る博物館等は、幼稚園の様に、専門家が(保育者)ついて居て、兒童からの質問に答へたり、子供の望む談話をきかせたり、種々世話をいたします。

とにかく此の様に、貧乏人の兒でない一般の兒童

に對して、市を擧げ町をこぞりて、保護設備に方法を講じて居るのであります。

第四、家庭補助。

これは、小さい子のために種々はかる所であります、生前生後の衛生、牛乳の世話、母親の相談にのつてやる等、即ち家庭補助をしてよく行き届いてをります。時間を極めて、醫士と看護婦とが、ある町にきて、そこで誰でも診察をうけ藥を指摘してもらつたり、牛乳の分量を教へられたり、或は母を集めては子供の食物、衣服のぬひ方を教へ、又母の外出時には子供をあつめる等、貧兒や勞働婦人の爲めにも特別な設備が出来てをります。かゝることは到る所で組織的に行はれて居ります。

英國では出産すると直ぐ届出ます、すると立派な素養ある訪問看護婦が行つて、それとなくちかづきになつて、行き届いた世話をして居ますから、出産についての手落ちなどがありません。

そうして、必要に應じては、かねて設けある産院に入院をさせたり、或は轉地をさせる事の工場への掛けあひまでも、世話をいたします。故に子供も母も健康に肥立つ事が出来ます。それですから、此の

頃ではむしろ貧乏に生れた方が幸福だと云ふ様になりました。

第四、特殊の兒童愛護不具白痴兒の愛護、道德上特殊性を持つてゐる子供の爲の少年裁判所、貧困の爲に家庭に居るを得ず、小さい内から、働きに出る子の爲に、少年労働取りしまり等、社會が充分取りしらべて保護を加へます、不幸にして眞の父母から虐待される子供の爲には、虐待防止會があつて大組織の下に、その子供を保護いたします。

凡て以上の様なことは、個人的では、種々の困難が起つて來て、繼續いたしませんから、社會的大々組織によつて、協力救済を營むで居る次第であります。實に歐米諸國ではかゝる事を説明するのも耽ぶかしい位によく行き届いて居るのであります、現今では今迄試みて參りました経過如何を研究するまでに到つたのであります。

さて、是等の種々様々な大なる働きが歐米に於いていかに経過して居るかご申しますのに。

一、昔は慈善的にかゝる事が行はれて居ましたが、今日の傾向では一つの大切な大きな事業として社會的に行はれる様になつて居ります。

二、昔は單に精神的に可愛いといふ愛情からのみで兒童に對する種々なことがなされましたが、今日では學問的に冷靜な研究的態度になりました。従つて誰でもかゝる問題に與る事は出来なくなりました、即ち、特別に教育訓練された人でなくてはならなくなりましたので、此の方面の専門學校が出来てまゐりました。

大學、専門學校に於いて、特別の機關を設けて此の方面の従事者を(勿論大多數は婦人ですが)二三年間全く智識的、科學的に養成する様になりました。

三、昔は託兒所は來た者だけ世話するといふ風でありましたが、今歐米では訪問係があつて、最も經驗のある重い役の人がこれにあたり、あたへられた区域内での出來る事は全く自分一人の責任として受持つてをります。例へば少年裁判所でも、こちらから出て行つて悪い兒の豫防をいたします。

四、昔は、兒童保護といへば兒童だけの保護でありましたが、今では家庭保護が即ち兒童保護であるとする様になりました。子供保護の爲には母親の在宅時間が長くなってはいけません。それには、母が外で働かないでもよい様に父の加俸を講じてやる。

それから、昔は悪癖兒を感化院孤兒院に入れてをきました。それは、一つには、家庭生活の暖かみから、遠ざかるのと、一つにはわるい子同志團體生活をさせるのはよくないといふ考からとで、謂ゆる家庭生活尊重のまごになるべく家庭で保護を加へるごいふ様になりました。家庭をもたぬ子のためには特によい家庭にたのんでその家の一人として育てゝもらひます。ボストンの昔の孤兒院、感化院に行つてみますと其處には、名簿だけがあつて、子供は、一人も居りません。私は診察のために暫く或る家庭(子供を特に預かつてゐる)にどまつてみました。が實に暖かく濃やかに育てられてをりました。

此の様に兒童問題を一人の子供から解決しないで、一般的社會的に子供を改良して行かうとする傾向が大變に著しくなつてまゐりました。かういふありさまをみて、私は、かゝる社會に於ける子供はいかに幸福であるかを痛切に思はせられました。

さかのぼつて考へてみますと、子供がかくも社會的保護をうけねばならぬといふことがすでに不幸なことでありませう。此の様にしなくともよい時代が來

ませば、それこそ理想的、黄金時代なのであります。が、その時代がめぐまれぬ間は、止むを得ませんから、我々が、こぞつて、愛護してやらなくてはなりません。

今、不良少年、病弱な母、貧困の孤兒等が幾人かほうつて置かれるのをみますれば日本が昔の様に、子供の樂園ではありませんまいと、いふことが出來ませう。(兒童愛護デー講演要領筆記)

○夏やすみ

綠 陸と

良 書とを

あたへよ